

自由工房

社会教育施設における生涯学習への取り組みの必要性の増大に応じて、自主制作の場として実技室を開放する「自由工房」を、週末の金曜から日曜日に通年開室し、広く県民に創作活動の場を提供した。祝日を加え週3日から4日の開室であった。

自由工房（通年開室）

参加者の自主制作を基本とするため中学生以上の個人を対象とし、インストラクター来室日には実技上の相談や助言を行った。参加者の活動内容は、実技室が持つ大型の版画プレス機を使った各種の版画、デッサン、水彩画、油彩画、館所蔵の美術ビデオの鑑賞など。期間は、他の講座で実技室を使用する日を除く毎週末の金、土、日曜日と祝日を基本とする。

開室日数 = 116日

10：15～16：15

講師 = 内山久子（美術家）

利用者数 = 717名

春季自由工房

『ミ・マ・しょう！（ミクロ・マクロ、みましょう）』

期 間 = 3月21日～23日（3日間）

午前11：00～12：30

午後2：00～3：30

講師 = 川田祐子（「きらめく光」展出品作家）

参加者数 = 115名

場 所 = 当館実技室・展示室

ロダン館デッサン会

ロダン彫刻の素描を通してより鑑賞を深めると同時に、新たな創作の場となることを期して「ロダン館デッサン会」を実施した。ロダン彫刻を素描する機会の提供に主眼を置き、参加者同士で行う感想会を、毎回終了時に設けた。技術的指導はなし。

期 間 = 毎月第4金・土曜日（本年度計23回実施）

参加者数 = 300名

版画入門

実技室で行われている自由工房の中に、版画入門の日を設けた。基本的な技法、材料の扱い方をインストラクターがわかりやすく説明しながら実演した。本年度から、2日連続の内容に改めた。

銅 版 画 = 5月11日・12日

シルクスクリーン = 8月24日・25日

リトグラフ = 11月30日・12月1日

10：15～16：15

講師 = 内山久子（美術家）

参加者数（通算） = 129名

絵画技法入門

静岡県立美術館所蔵作品を用いて参加者が技法的な目線で鑑賞することにより、デッサン・エスキース・構図・色彩・画材・道具・描き方等の絵画技法を学んでいただいた。また、乾きが早く取り扱いが容易なアクリル絵の具を画材に採用した。

4月13日・5月4日・6月1日

10月12日・11月9日・12月9日

10：15～16：15

講師 = 脇田千晶（画家）

場 所 = 当館実技室・展示室

参加者数 = 108名

「今、ここにある風景」展出品作家によるフリートーク
「今、ここにある風景 = コレクション + アーティスト + あなた」展の出品作家が、来場者と作品や展覧会について自由に語り合う場を設けた。

8月10日 日高理恵子氏

8月17日 菱山 裕子氏

8月31日 吉田 暁子氏

場 所 = 当館実技室・展示室

参加者数 = 103名

共同制作1. 2

「きらめく光」展関連普及事業として、同展出品作家2名と参加者による「きらめく光」展出品作品の共同制作を行った。

共同制作1 『メモリアルカラーージュ』

期 間 = 9月1・8・15日・10月20日（4日間）

13：00～16：00

講師 = 川田祐子（「きらめく光」展出品作家）

参加者数 = 34名

共同制作2 『光をさがす』

期 間 = 1月25・26日

10：30～15：30

講師 = 大巻伸嗣（「きらめく光」展出品作家）

参加者数 = 54名